

◆8月30日(水)～9月5日(火)

南三陸町「高茂商店」三陸の海藻・海産物と珍味販売会

三陸産わかめと、三陸産の「ほや」など珍味各種を、高橋社長が元気にお届けします。

◆9月2日(土)のみ

登米市「後藤ぶどう園」有機栽培にこだわったぶどうを、生産者の方がお客様に、直接試食販売を行います。

◆9月6日(水)～9月12日(火)

石巻市「カイトク商店」石巻地域のセレクト特産品販売会

熱血販売員野口さんが、自慢の品々をご紹介します！

◆9月13日(水)～9月19日(火)

女川町「いかや」地場産素材を使った手作り海産物販売会

女川港で水揚げされた新鮮な素材を使用した手作りの海産物を販売します。

◆9月16日(土)～9月24日(日)

仙台銘菓「萩の月」期間限定特別販売会

1個売り、簡易箱タイプ、化粧箱タイプなども取り扱い予定です。

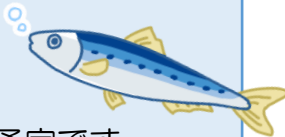
◆9月20日(水)～9月26日(火) その1

石巻市「本田水産」牡蠣惣菜と金華さば加工品販売会

◆9月20日(水)～9月26日(火) その2

美里町「大地フーズ」いわしだんご・ハンバーグ試食販売会

老若男女に人気！いわしハンバーグは加熱済みなのでレンジ調理でもOK！ぜひご試食もお試しく下さい！



★最新情報も定期的に受け取れるメールマガジンの登録を受付中！

<http://cocomiyagi.jp/>  宮城ふるさとプラザ

宮城ふるさとプラザの運営主体(公社)宮城県物産振興協会のホームページでは、宮城県産品のインターネット販売を行っております。

商品も随時更新しております！ぜひご覧ください。

<http://www.miyagibussan.or.jp/>  宮城県物産

## 鳴子温泉の旅 その4 温泉好きがお送りする旅のすゝめ

【鳴子温泉旅最終日】  
ついに最終日。天気は良い、というか真夏日。

朝ごはんはしっかりと、温玉・しそ巻き・笹かま・イナゴと地の食材を頂き、夕のお風呂も入る。大荷物を見て女将さんが駅まで送ってくれた。ありがとうございます。感謝です。

【菅原分店765】の女将さんや駅前の【肉の柴崎】の店主がおすすめ《湯沼》へ。

見事なまでのコバルトブルーの湖面。なんて美しいのか！あの湖の底には極楽浄土が広がっているのか？ 鳴子火山の活動でできた火山湖で世界有数の強酸性湖。魚はいない、冬も凍結しない神秘的湖。駅から車で10分、歩いて1時間弱(行きは坂道なのでおすすめしない)。一周30分程度の遊歩道もある。熊さんもないさぞうだし(今の所)、隣のクレイ射撃場からの流れ弾もない今の所。

ここはもっとメジャーになって良いのになあ…。

そしてついに最後の温泉。

【菅原分店765】のたぶん本店【旅館すがわら】へ。

青く美しい湯は、「すがわらブルー」として有名。

ただ最近あまり青くないと聞いていたのだが…僕は持っていた先客の常連曰く、「何度も来てるが今までで一番青い！」

ほんのり青みがかった湯は気品すら感じる。

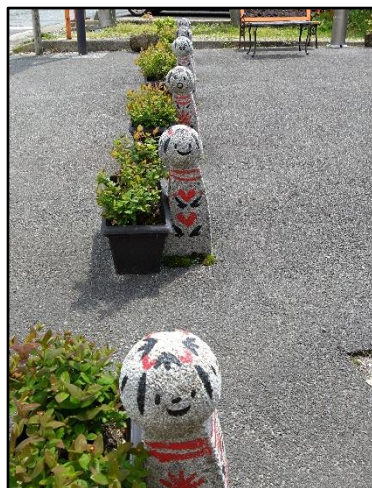
ほんの数分でも色が変化していく、まさに「温泉は生き物」。最後に鳴子温泉から素敵なお土産をもらった。

常連さんの「もしかしたら明日出なくなるかもしれない温泉を、500円で入れるのだから感謝しないかね。」

全くもってその通りです。

湯上りに手打ちそば【登良家】さんで鴨せいろとビールで打ち上げ。帰路へ。さようなら鳴子温泉。

鳴子温泉は団体客やインバウンド目当ての大旅館も何軒かはありますが、大多数は家族経営の小さな宿設備もアメニティグッズも充分とは言えない。



実際今回宿泊した宿には浴場にシャワーがない所やトイレ共同の所も。ただそれは硫黄泉、硫酸塩泉のため数年で金属類がサビて駄目になってしまいうことも、理由のひとつだ。

お客様からのクレームもあるそうだが、そういう方は別の温泉地をお勧めする。ここは温泉に自信があり、誇りに思っている人が宿をやり、温泉に恋焦がれる人が集う場所。

ここには圧倒的な泉質の良さがある。ぜひ一度、鳴子温泉を訪れ、湯に体を委ねてほしい。そしてその湯を思う存分味わって欲しい。

(終わり)